

2025 年 9 月 4 日 日本子ども宣教局（子ども） シム・ジュウファン牧師

9月学院福音化の主題は次のとおりです。

- 1 課「パウロの導き」
- 2 課「パウロの働き」
- 3 課「パウロのターニングポイント」
- 4 課「パウロの特別な恵み」

今月の学院福音化の内容と、そこに書いてある聖句は、直接、聖書を開いて見てください。皆さんが、黙想するのに、少しでも役立つようにと願う心で、今日のみことばを整理してみました。

個人的に上の 4 つの主題を一つにまとめて、このようにタイトルをつけました。

「私の選びの器」

使徒の働き 9 章 15 節です。

しかし、主はアナニアに言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、わたしの選びの器です。

では、まず皆さんに一つ質問をします。

「皆さんは作品ですか。器ですか」

たった今読んだみことばがあるので作品とは答えないでしょう。皆さんは器です。だれが作られましたか。陶器師である神様が作られたのです。

エレミヤ 18 章 1 節から 6 節を見ます。

01 主からエレミヤに、このようなことばがあった。

02 「立って、陶器師の家に下れ。そこで、あなたにわたしのことばを聞かせる。」

03 私が陶器師の家に下って行くと、見よ、彼はろくろで仕事をしているところだった。

04 陶器師が粘土で制作中の器は、彼の手で壊されたが、それは再び、陶器師自身の気に入るほかの器に作り替えられた。

05 それから、私に次のような主のことばがあった。

06 「イスラエルの家よ、わたしがこの陶器師のように、あなたがたにすることはできないだろうか——主のことば——。見よ。粘土が陶器師の手の中にあるように、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしの手の中にある。

神様がご自身の気に入る作品として器を作られるのです。

それなら、神様はなぜ私たちを器として作られたのでしょうか。パウロはこのように話しています。

II コリント 4 章 5 節から 7 節です。

05 私たちは自分自身を宣べ伝えているのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えています。私自身は、イエスのためにあなたがたに仕えるしもべなのです。

06 「闇の中から光が輝き出よ」と言われた神が、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせるために、私たちの心を照らしてくださったのです。

07 わたしは、この宝^{たから}を土^{つち}の器^{うつわ}の中^{なか}に入れています。それは、この測^{はか}り知^しれない力^{ちから}が神^{かみ}のものであって、私^{わたし}たちから出^でたものではないことが明らかになるためです。"

7節で言われている宝^{せつ}は、まさにイエス・キリストです。

整理^{せいり}するなら、宝^{たから}であるイエス・キリストだけがまことの作品^{さくひん}であり、私^{わたし}たちはその宝^{たから}を入れる器^{うつわ}なのです。器^{うつわ}である私^{わたし}たちの人生^{じんせい}を通して、宝^{たから}であるキリストだけが崇^{あが}められ、キリストだけがほめたたえられ、キリストだけが現^{あら}わされる、そのような器^{うつわ}として用^{もち}いられるべきなのです。5節と6節のみことばが、その内容です。「主^{しゅ}なるイエス・キリストを宣^のべ伝えています」「キリストの御^み顔^{かお}にある神^{かみ}の栄^{えい}光^{こう}を知る知^し識^{しき}を輝^{かが}かせるため」私^{わたし}たちの器^{うつわ}にそれを入れて、私^{わたし}たちを通して伝^{つた}えるようにされるのです。

エペソ2章10節でも、パウロはこのような話^{はな}します。

10 実^{じつ}に、私^{わたし}たちは神^{かみ}の作品^{さくひん}であって、良^よい行^{おこな}いをするためにキリスト・イエスにあって造^{つく}られたのです。神^{かみ}は、私^{わたし}たちが良^よい行^{おこな}いに歩^{あゆ}むように、その良^よい行^{おこな}いをあらかじめ備^{そな}えてくださいました。

ほとんどの場合^{ばあい}、日^に本^{ほん}語^ご聖^{せい}書^{しょ}が韓^{かん}国^{こく}語^ご聖^{せい}書^{しょ}より翻^{ほん}訳^{やく}が良^よいのですが、エペソ2章10節だけは韓^{かん}国^{こく}語^ご聖^{せい}書^{しょ}がよ^よいようです。日^に本^{ほん}語^ごの聖^{せい}書^{しょ}では「神^{かみ}の作品^{さくひん}だ」と言^いっていますが、ここに使^{つか}われている単^{たん}語^ごは、単^{たん}純^{じゆん}に作^{つく}られたこと、被^ひ造^{ぞう}物^{ぶつ}という意^い味^みを持^もっている単^{たん}語^ごです。私^{わたし}たちは単^{たん}に神^{かみ}様^{さま}に造^{つく}られた被^ひ造^{ぞう}物^{ぶつ}だということです。

そして、エペソ2章10節にあるように、良^よい行^{おこな}いをあらかじめ備^{そな}えてくださったとありますが、私^{わたし}がこの学^{がく}院^{いん}福^{ふく}音^{いん}化^かの時間^{じかん}を通して、何^{なん}度^ども語^{かた}っているの、覚^{おぼ}えているでしょうが、聖^{せい}書^{しょ}で話^{はな}す良^よい行^{おこな}い、または、良^よいことというのは、神^{かみ}様^{さま}の栄^{えい}光^{こう}を現^{あらわ}すことで、イエス キリストを現^{あら}わすことを言^いうのです。

きょう ほんぶん 今日^{けふ}の本文^{ほんぶん}みことばにまた戻^{もど}りましょう。

パウロはどんな器^{うつわ}として選^{えら}ばれたと言^いわれているでしょうか。もう一^{いち}度^ど読^よんでみましょう。

使^し徒^と9章15節

しかし、主^{しゅ}はアナニアに言^いわれた。「行^いきなさい。あの人^{ひと}はわたしの名^なを、異^い邦^{ぼう}人^{じん}、王^{おう}たち、イスラエルの子^こらの前^{まへ}に運^もぶ、わたしの選^{えら}びの器^{うつわ}です。

「わたしの名^なを・・・運^{はこ}ぶ、わたしの選^{えら}びの器^{うつわ}です」

パウロはイエス・キリストの名^なを運^{はこ}ぶ働^{はたら}きのために選^{えら}ばれた器^{うつわ}だということです。神^{かみ}様^{さま}の手^てに捕^とらえられた道^{どう}具^ぐとしてです。それゆえ、三^{さん}度^どにもわたって伝^{でん}道^{どう}旅^{りょ}行^{こう}をしました。そして、13卷^{かん}または、14卷^{かん}の書^{しょ}簡^{かん}を書^かくことになりました。すると、私^{わたし}たちはパウロが何^{なに}をしたのか、その業^{ぎょう}績^{せき}がどんなものなのかに、あまりに多^{おほ}くの関^{かん}心^{しん}を持^もってはいけません。単^{たん}に、パウロがしたそのことだけを見^みて、彼^{かれ}をモデルして同^{おな}じ生^{せい}活^{かつ}を送^{おく}るべきだということではないのです。もしそうだったら、パウロが受^うけた苦^く難^{なん}にも懂^{あが}れて、その苦^く難^{なん}も同^{おな}じように参加^{さんか}する生^{せい}活^{かつ}を送^{おく}るべきではないでしょうか。パウロの苦^く難^{なん}について一^{いち}度^ど見^みてみましょう。

IIコリント11章23節から27節です。

23 彼^{かれ}らはキリストのしもべですか。私^{わたし}は狂^{きやう}氣^きしたように言^いいますが、私^{わたし}は彼^{かれ}ら以上^{いじょう}にそうです。勞^{ろう}苦^くしたことはずつと多^{おほ}く、牢^{ろう}に入^いれられたこともずつと多^{おほ}く、むち打^うたれたことははるかに多^{おほ}く、死^しに直^{ちよく}面^{めん}したこともたびたびありました。

24 ユダヤ人^{じん}から四^{よん}十^{じゅう}に一^{ひと}つ足^たりないむちを受^うけたことが五^ご度^ど、

25 ローマ人にむちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度、一昼夜、海上を漂ったこともありす。

26 何度も旅をし、川の難、盗賊の難、同胞から受ける難、異邦人から受ける難、町での難、荒野での難、海上の難、偽兄弟による難にあい、

27 勞し苦しみ、たびたび眠らずに過ぎ、飢え渴き、しばしば食べ物もなく、寒さの中に裸でいたこともありす。

このようなことも覚えて祈っているのでしょうか。

私たちは神様がパウロをどのように用いられたか、パウロを通してどんなことを成し遂げられたのか見なければなりません。また、そういう神様の導きに、パウロがどのような信仰の告白をしたのか、従順にする生活を送ったのかに関心を持つべきです。

それゆえ、神様の選びの器として用いられる中で、パウロ自身が、自分の認識、自己認識をどのようにしたのか、どのように変化したのかを見てみます。

皆さんがよくご存じでしょうが、パウロにはサウロという名前がありました。サウロというのはヘブライ語で、その名をギリシア語にしたのがパウロです。正確には、パウロスと言います。そのパウロという名前はラテン語に由来しています。「小さい者」という意味があります。パウロがイエス様に会う前がサウロで、出会った後にパウロに変わったと言っているではありません。その悔い改めによって名前が変わったというのは聖書的な根拠はありません。単に、なぜ「小さい者」という意味の名前を持っているパウロが、選びの器として用いられたのでしょうか。パウロはその名前が持っている意味のとおり、パウロは働きの後期に行くほど、神様の前で小さい者として導かれて行く生活を送っています。

パウロの書簡の中で、AD53 くらいに、いちばん最初に記録されたガラテヤ人への手紙の最初の挨拶を見ると自分をこのように表現しています。

ガラテヤ 1 章 1 節

人々から出たのではなく、人間を通してでもなく、イエス・キリストと、キリストを死者の中からよみがえらせた父なる神によって、使徒とされたパウロと、

使徒としての自負心とプライドがあることを感じるでしょう。

実際に、働きの初期には、多くのユダヤ人から、「あなたはイエスが生きておられる時に弟子になった者でもないのに、使徒だと自分で言うのか」と、多く迫害を受けました。それゆえ、その最初に書いた書簡であるガラテヤ人への手紙では、人間を通してではなく、神様が私をそのように立てられたと、アピールをしているのです。

それでは、その6年後であるAD59頃に記録されたコリント人への手紙第一では、15章9節にこのように表現しています。

I コリント 15 章 9 節

私は使徒の中では最も小さい者であり、神の教会を迫害したのですから、使徒と呼ばれるに値しない者です。

とても謙虚になっていて、使徒の中では最も小さい者だと言っています。それとともにその続きの10節ではまた、このように話します。

I コリント 15 章 10 節

ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。

私が働いたのではなく、すべてが神様の恵みだと告白しています。

その次、その1年後であるAD60に記録したエペソ人への手紙には、また、このように告白をします。

エペソ 3 章 8 節

すべての聖徒たちのうちで最も小さな私に、この恵みが与えられたのは、キリストの測り知れない富を福音として異邦人に宣べ伝えるためであり、

その前のコリント人への手紙第一は1年前ですが、「使徒の中で最も小さい者」と言いましたが、1年後には「すべての聖徒たちのうちで最も小さい私」このように話します。

そしてパウロが死ぬ1年前であるAD65に、ローマの牢獄でテモテへの手紙第一を記録して、このように告白をします。

I テモテ 1 章 15 節

「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

罪人のかしらが私だということです。罪人のかしらとは、「サタン、悪魔」です。いま、自分自身がサタン、悪魔だと言っているのです。そのような私をキリストが生かしてくださったと告白しています。続く16節でまた、このように話します。

I テモテ 1 章 16 節

しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例にするためでした。

この内容が理解できますか。罪人のかしらであった私、そのような私があわれみを受けた、私を模範として、またほかの永遠のいのちを得ることになる人々に、福音を宣べ伝えようとされたと言っています。

このテモテへの手紙第一1章15、16節の話が、今日の本文である使徒9章を背景としています。イエスの名を呼ぶ者を捕まえに行くためにダマスコに行こうとした私に復活された主が訪ねてきて、会ってくださいました。そして、異邦人と王たちとイスラエルの子らの前にイエスの名を伝える選びの器として選んでくださったということです。神様が私を何のために選ばれたかに対する理由の説明を、死ぬ1年前にも、また、このように告白しているということです。

私と皆さんみんなが、神様に選ばれた器として、今日を生きています。その家庭、その教会、皆さんがいる学校、職場、そこで主の御名を運ぶ器として。皆さんが置かれたすべての環境の中で、従順を通して神の国の生き方をしてください。この時代には、使徒パウロのような業績を残す者が必要なのではなく、パウロのような小さい者としての信仰告白をする者が必要なのです。

最後に今月の題名を再びこのように整理をしました。

1 課「パウロの導き」→「パウロを通した聖霊の導き」

2 課「パウロの働き」→「パウロを通した聖霊の働き」

3 課「パウロのターニングポイント」→「パウロに対する聖霊の指示」

4 課「パウロの特別な恵み」→「パウロに臨んだ神様の恵み」

1、2、3、4課の説明はしません。

観点を、神様が働きをされた部分に、神様がなさった働きに置いて一か月間各自がみことばを黙想してください。

以上です